

広島平和記念式典に参列しました

派遣日程 8月5日(月)～7日(水)

- 初日 平和記念資料館、平和記念公園、原爆ドーム等見学
- 2日目 平和記念式典参列
灯ろう流し参加
- 3日目 原爆の子の像に折り鶴奉納
被爆体験講話学習



8月6日、広島に原爆が投下されてから74回目の夏を迎えました。

世界では、核兵器廃絶に向け、さまざまな動きがありますが、いまだ実現には至らず、私たちは今も核の脅威にさらされ続けています。

鹿沼市では、平成7年に「平和都市宣言」を行い、その理念の下、平成9年から毎年、市内の中学生を広島に派遣し、戦争の悲惨さや平和の尊さを学んでいます。

今年も、20人の生徒が広島の地を訪れ、広島平和記念式典に参列しました。



▲平和への願いを込めた灯ろう流し



▲平和記念式典に参列

総務課総務係

☎(63)2138

**派遣団
団長
団員**

渡邊 英明 (西中学校校長)
 中学校3年生 20人
 東 中 伊藤 輝 大野 元之 高橋万里菜
 豊田 真由
 西北 中 石塚 紗羅 大門 夢奈 田村 飛龍
 有馬 拓海 金子眞利奈 芳賀 柊斗
 北犬飼中 金子笑里沙 松下 幸大
 北押原中 篠原 美桜 横山 幸太
 加蘇中 奈良 妃納
 板荷中 関 里莉花
 南摩中 太田 蓮
 南押原中 宇梶さくら
 粟野中 中野 華 古橋 正多
 引率者 若色 淑恵 (北押原中学校教諭)
 芳田 潤 (粟野中学校教諭)



**平和記念公園・
平和記念資料館**

派遣事業の1日目は、平和記念公園を見学しました。

降り立った広島はとても暑く、原爆が投下された74年前の夏に思いを巡らせました。

平和記念公園は、爆心地に近い広島市中心部に位置し、原爆ドームや、広島平和記念資料館があります。

今年の4月にリニューアルされた資料館の本館では、被爆者や遺族の今日までの悲しみや苦しみが進められている展示を目の当たりにし、あらためて戦争の悲惨さや平和の尊さを感じることができました。

灯ろう流し

平和記念式典が行われた日の夜に、原爆ドーム周辺で行われる灯ろう流しに参加しました。

灯ろう流しは、原爆で家族や知人をつ失った遺族や市民たちが追善と供養のため、手作りの灯ろうを川に流したのが始まりといわれています。

現在では、この「慰霊」のほかに、平和への願いを込めた「ピースメッセージ」の意味も持つようになりました。派遣団は、2人1組で「平和への願い」を灯ろうに書き入れ、元安川に流しました。

原爆の子の像

原爆の子の像は、原爆で亡くなった子どもたちの霊を慰め、平和な世界を願って平和記念公園内に造られました。

この像には、世界中からたくさんの方々が捧げられており、平和を願う人々の強い思いを感じることができます。派遣団は、市内の各中学校で折った、平和への願いのこもった千羽鶴を、原爆の子の像に捧げました。

被爆体験講話学習

被爆体験講話学習では、8歳のとき、爆心地からわずか870mしか離れていない祖母の家の庭で被爆した佐渡郁子さんの体験談を聴きました。

原爆投下直後の悲惨な状況や同じく被爆した妹の死について語る佐渡さんの講話は、私たちに戦争の悲惨さや理不尽さを強く感じさせ、平和についてあらためて考えさせられるものでした。

市ホームページで事業概要、派遣生徒たちの感想文、記録映像を公開しています。併せてご覧ください。



▲原爆の子の像への千羽鶴の奉納



▲リニューアルされた資料館の見学

保育無償化

がん検診

プラスチックごみ
プラネタリウム

広島平和記念式典

市民のひろば

アイドル・フラッシュ

健康

お知らせ

まる博ものがたり